

持続可能で  
魅力と活力あふれる  
都市・東京の実現を目指して



公益財団法人 東京都環境公社

Tokyo Environmental Public Service Corporation

# 多様化・深刻化する 環境課題の解決に挑み、 持続可能で魅力と活力あふれる 都市・東京の実現を目指します。

近年、命に関わる厳しい暑さや経験したことのない豪雨など、地球温暖化による影響は深刻さを増し、既に私たちの日々の生活に大きな影響を及ぼしています。また、これまでの多量の資源を消費する社会は、海洋生態系へのプラスチック汚染など世界的な環境汚染へと繋がっています。

東京都環境公社は、これまでスマートエネルギー都市の実現や快適な都市環境の創出に向けて、省エネルギー対策、廃棄物の適正処理と資源循環の促進、自然環境の保全のほか、環境の改善・向上に資する調査研究など幅広く事業を展開してきました。

気候変動の影響の甚大さと対策の緊急性が改めて浮き彫りになった今、社会全体を脱炭素型に転換するゼロエミッション東京の実現に向けて、これまで培った知見・専門性を活かし、あらゆる人に環境配慮行動への行動変容を促すなど、多様化・深刻化する環境課題の解決に積極果敢に挑んでまいります。これによって、持続可能な成長を実現する魅力と活力あふれる都市・東京を目指してまいります。



ごあいさつ



当社は、昭和37年の設立以来、当初は廃棄物分野を中心として、近年では、地球温暖化対策、自然環境の保護、調査研究など事業を広げ、多様化する環境課題の解決に行政と一丸となって取り組んでまいりました。

パリ協定の発効やSDGsによって、地球規模で持続可能性を追求する動きが急速に広がる今、東京は環境先進都市として先導的な役割を果たしていく必要があります。

現在、気候危機は一層深刻化しております。また、感染症の脅威にも直面する中、社会は大きく、そして急速に変貌を遂げつつあります。

こうした中、東京都は2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロに向けた「ゼロエミッション東京戦略」を公表し、あらゆる取組を加速・強化しております。東京都の政策連携団体である公社においても、「2030年に向けた公社アクションプラン」を策定し、エネルギーの脱炭素化、気候変動への適応、プラスチック対策など、その取組スピードを緩めることなく、ゼロエミッション東京の実現に向けて、様々な環境課題の解決に挑んでまいります。

また、公正で健全な組織運営を図るなどガバナンス強化に努め、都民・事業者の皆様からより一層信頼される公益法人を目指してまいります。

皆様からの一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 東京都環境公社 理事長 高崎 秀之



## SDGsの達成に向けた公社の取組

地球規模で持続可能性に関する課題に直面する今、世界共通で取り組むSDGsの重要性について改めて認識が広がっています。

SDGsがめざす「持続可能な社会」は、人類による地球環境の保全と利用がバランスを保ち、健全な生態系を維持・回復し、健康で心豊かな暮らしと自然との共生が実現された社会に他なりません。

長年、環境課題の解決に携わってきた当社が、SDGsと共通の理念を持ち、ゴールに向かって取組を推進することは重要な責務です。

公社では、持続可能性を追求する各取組を取り纏めた「サステナビリティ・チャレンジ」を策定し、職員一人ひとりがSDGsを自分ごととして捉え、多様な主体との連携、パートナーシップの構築を図りながら、環境にやさしい未来、持続可能な社会の実現に向けて、みなさまとともに取り組んでまいります。

*Transforming our world*

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



Smart energy

# スマートエネルギー

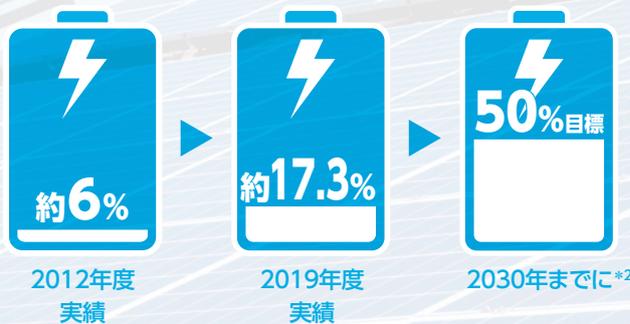
## スマートエネルギー都市の 実現に向けて

地球温暖化が原因とされる世界各地の異常気象は、ここ東京都でも猛暑日や集中豪雨の増加という形で現れています。中小企業の事業活動や、家庭の生活において、省エネや再生可能エネルギーを取り入れることは、地球温暖化の原因となっているCO<sub>2</sub>の排出を減らすことにつながります。東京都環境公社は、都のスマートエネルギー都市の実現に向けた方針を踏まえ、「クール・ネット東京」\*1を拠点として、地球温暖化防止の取組を支援しています。

\*1：「東京都地球温暖化防止活動推進センター」の愛称

### 取り組みは続く！ 都内の再生可能エネルギーによる 電力の利用割合を5割に！

中小企業や家庭における、再生可能エネルギー導入拡大の支援と、水素社会実現に向けた取組を推進します。



\*2：環境先進都市・東京に向けて(2021)

## 中小規模事業所の省エネ診断



省エネルギーに関する経験豊富な診断員が都内の事業所に伺い、事業所の特性に応じた最適な省エネ対策を提案し、運用改善をサポートします(無料)。また、テキスト、HP、アニメ動画等によって、個々の業種の特徴に応じた省エネの具体事例の紹介や事業所向け研修会への講師派遣等を行っています。

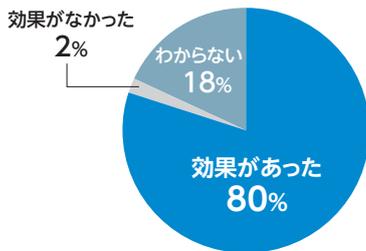


アニメで分かる省エネルギー対策

業種別省エネルギー対策テキスト

## 累計約4,600件の診断実績(平成20～令和2年度)

省エネルギー診断を受けて、  
効果がありましたか？



約80%の事業者が、効果を実感!

省エネルギー診断を受診した後、  
どのくらいエネルギー使用量が下がりましたか？



※平成20～令和元年度に省エネルギー診断を受診した事業者にアンケート(有効回答数:1,262件)



事業所の省エネ診断  
<https://www.tokyo-co2down.jp/learn/diagnosis-office>

## 再エネ由来電力普及促進モデル事業

公社は再生可能エネルギー由来の電気を組み合わせ、自社施設等に供給しています。そこで得られた小売電気事業者としての電力需給管理等のノウハウを活用し、再エネ新電力の設立を検討する自治体等へアドバイザーを派遣するなど、再エネ由来の電気を率先して選択するモデルを示します。



出典:気仙沼地域エネルギー開発(株)



出典:調布まちなか発電(株)



## 家庭の低炭素なライフスタイルを支援します！

企業や自治体等のセミナー等に省エネの講師を派遣し、家庭でできる省エネのコツやLED照明の選び方などを紹介したり、省エネセミナーの開催や区市町村の開催する環境イベント等への出展を通じて、地球温暖化の現状や具体的な省エネ事例を紹介し、都民ひとりひとりの省エネ活動を支援しています。

**セミナー内容** クイズなどを交え、楽しみながら学べる内容です。

- 地球温暖化の仕組み
  - わが家の省エネ度をチェック
  - 消費電力を測ってみよう!
  - 一度やるとずっと省エネ
  - 少ないエネルギーで快適の工夫
  - 買い替えでグーンと省エネ
  - LED照明は省エネ&長寿命
  - LED電球の選び方
  - 省エネの肝はお湯の使い方
- ※上記の中から、時間・ご希望に合わせて調整いたします。



## 東京ソーラー屋根台帳

東京都と連携した太陽エネルギーの利用拡大に向けた情報発信として、太陽光発電や太陽熱に適した屋根が一目でわかる「東京ソーラー屋根台帳(ポテンシャルマップ)」を公開しています。



東京ソーラー屋根台帳(ポテンシャルマップ)  
<https://tokyosolar.netmap.jp/map/>



## ご家庭向け・事業所向け助成金事業

都民や中小規模事業者の皆様の環境分野での取組を後押しするための「助成金」を実施しています。

- ▶ 電気自動車や燃料電池自動車などの環境にやさしい乗り物を取り入れるときの補助
- ▶ エネファームなど省エネ・再エネ・創エネ機器を取り入れるときの補助
- ▶ 水素ステーション設備など水素エネルギー関連設備を取り入れるときの補助



クール・ネット東京ホームページ

その他にもご家庭向け・事業所向けの様々な「助成金」を実施しています。詳しくは「クール・ネット東京」ホームページよりご確認ください。



助成金の  
詳細はこちら



クール・ネット東京 <https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy>

# 水素情報館 東京スイソミル Tokyo Hydrogen Museum

「東京スイソミル」は、目に見えない水素のことや誰も見たことのない将来像を、見て触って体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設です。



住所/東京都江東区潮見1-3-2  
電話/03-6666-6761  
開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)  
休館日/月曜日、年末年始(12月28日~1月4日)  
※月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館  
アクセス/・JR京葉線 潮見駅 徒歩8分  
・東京メトロ 有楽町線 辰巳駅 徒歩20分  
・都営バス 錦13乙(錦糸町⇄深川車庫)  
潮見一丁目下車徒歩1分



スイソ



楽しく学べる  
体験型展示が  
いっぱい!



水素で発電する  
仕組みを見てみよう!



1F

2F

2Fは  
事業者向けの  
講習会等にも  
利用されるよ



サンソ



ミズジ



クイズゲームで  
目指せ水素マスター!



スイソミル

<https://www.tokyo-suisomiru.jp/>

## 団体予約の受付

東京スイソミルでは、予約制の館内アテンドツアーを受け付けています。社会科見学や事業者の方、海外メディアの視察など、子供から大人の方まで幅広くご利用いただいております。30・45・60分からご要望に合わせてご案内します。

## 各種イベント

小学生を主な対象としたオンラインイベントを夏休み・ゴールデンウィークに開催しています。水素やSDGsを題材にしたワークショップ会のほか、リモート館内ツアーを開催しています。自治体等の環境イベントにも出展しています。

## 展示紹介

ゲームやクイズ、自分で水素をつくる体験のコーナーで楽しく水素エネルギーの基本を学べるほか、東京2020大会で使われた水素聖火トーチ展示等、水素エネルギーの実社会での活用に向けた様々な技術に触れることができます。





Resource Circulation

# 資源循環

## 持続可能な資源利用の 推進に向けて

2060年には、世界の人口が100億人に、資源利用量が現在の2倍以上となる1,900億トンと急増し、気候変動にも深刻な影響を及ぼすとみられています。

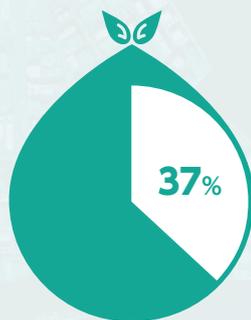
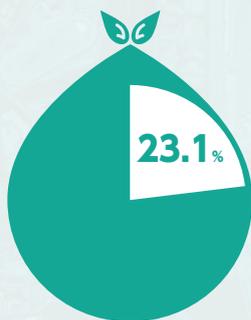
東京は、多量の資源供給を域外に依存し、大量消費をしており、これまでの省資源化の取組に加え、再生可能資源の持続可能な利用に先導的に取り組む責任があります。廃棄物処理業を設立経緯に持つ公社は、長年培った専門性を最大限に生かし、3Rの促進や最終処分量の削減等に取り組むとともに、都民・事業者の環境配慮行動を支援していきます。

取り組みは続く!

都内のごみ<sup>\*1</sup>のリサイクル率を37%<sup>\*2</sup>に!

2019年度 実績

目標 2030年度



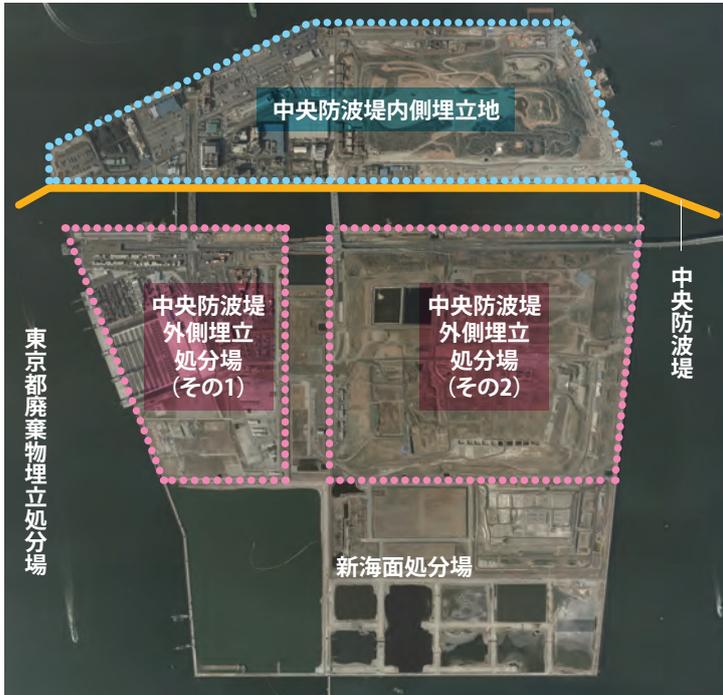
※1 一般廃棄物

※2 環境先進都市・東京に向けて(2021)



## 廃棄物の適正処理と都市環境の保全

東京都廃棄物埋立処分場は東京港内で最後の埋立処分場です。限りある処分場の延命化に向け適正かつ安全に埋立作業を行うとともに、処分場の環境対策にも努めています。



東京都環境局提供

### 中央防波堤内側諸事業

中央防波堤内側埋立地において東京二十三区清掃一部事務組合が運営する中間処理施設等で、廃棄物の受入、粗大ごみ等破砕ごみの積込運搬及び清掃等の環境保全作業等を受託し、実施しています。



東京二十三区清掃一部事務組合提供

### 中央防波堤外側諸事業

東京都が管理運営する中央防波堤外側埋立処分場等で、廃棄物の受入指導、覆土などの埋立処分作業及び飛散ごみ防止等の環境保全作業等を受託し、実施しています。



## 河川清掃事業

河川環境の保全を図るため、東京都が管理する隅田川や神田川等都内30河川において、船舶を用いた浮遊ごみ等回収処理作業を受託し、年間300日以上実施しています。



コンベア船での清掃作業

## 廃棄物処理施設の運転管理と技術支援

廃棄物処理施設における運転管理や計器保全等を受託するほか、廃棄物処理技術を活用した技術支援、国際協力を行っています。

### 不燃ごみ処理センター運転管理

／管理者:23区清掃一組\*

23区内の一般家庭等から排出された不燃ごみの適正処理や金属等の資源回収を実施しています(中防及び京浜島)。

### 管路収集輸送施設運転管理等

／管理者:23区清掃一組\* 等

臨海副都心地域(青海・台場・有明)の集合住宅等のごみを処理するための管路収集システムを総合管理しています。

### 清掃工場計器保全

／管理者:23区清掃一組\* 等

23区等の各清掃工場に設置されている排ガス分析等の計器保守点検を年間300日以上実施しています。

### 廃棄物処理施設に関する技術支援

／管理者:多摩・島しょ地域の自治体等

公社の廃棄物処理技術の知識・ノウハウを活用し、施設建設の設計書類の確認や維持管理の設計積算等の技術支援を、公益的な立場で各自治体の要望に応じて実施しています。

### 施設搬入不適合物調査

／管理者:23区清掃一組\* 等

清掃工場等の適正搬入の確保と安定操業のため、車両搬入時の一般廃棄物の不適合物検査を年間300日以上実施しています。

### 資源循環分野における国際プロモーション事業

アジアを中心とした大都市共通の課題を協働して解決するために、廃棄物処理・リサイクルに関する東京の経験・技術を活用し、国内外での研修等を実施しています。

\*東京二十三区清掃一部事務組合



## 資源の循環利用と適正処理に関する事業

### 産業廃棄物に関する講習会・セミナーの開催

産業廃棄物の適正処理や法令順守等に関する講習会やセミナーを、排出事業者・処理業者を対象にそれぞれ開催しています。

### PCB廃棄物処理支援事業

都内の中小企業者等が所有する変圧器や絶縁油等のPCB廃棄物について、処分、収集運搬及び調査に関する経費の一部を助成し、PCB廃棄物の処理を促進しています。

### 医療廃棄物適正処理推進事業

医療機関等の廃棄物処理において、電子マニフェストと優良な産業廃棄物処理業者を組み合わせた追跡管理システムを提供することで、医療廃棄物の適正処理の取組を推進しています。

### 粗大ごみ申告受付事業

家庭から排出される粗大ごみ収集依頼について、電話やWebによる受付や自治体ごとに異なる情報提供をワンストップサービスで行っています。

### 家電リサイクル事業

家電リサイクル法の対象4品目について、都内23区の住民・事業者からの収集依頼や問合せ対応をワンストップサービスで行っています。



産業廃棄物排出事業者・処理業者合同セミナーの様子



受付の様子

## TOKYO海ごみゼロアクション



東京の海に新たなプラスチックごみを流出させないよう、東京の海ごみ問題を都民に広く啓発するとともに、海ごみや河川ごみの清掃活動への参加につなげる「TOKYO海ごみゼロアクション」を実施しています。



TOKYO海ごみゼロアクションHP  
<https://www.tokyokankyo.jp/umigomi-zeroaction/>

### プラ製容器包装・再資源化支援事業

都内区市町村が実施する全てのプラスチック製容器包装等の分別収集について、その経費の一部を補助し、プラスチックの持続可能な利用を促進しています。

### 浄化槽法定検査事業

浄化槽法に基づく指定検査機関として、法定検査を実施し、必要に応じて管理者に対して改善策等の助言を行っています。



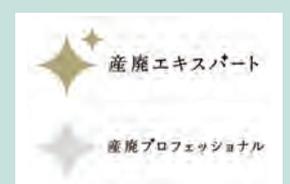
法定検査の様子

### 3Rアドバイザーによる事業系廃棄物の3R推進

都内大規模オフィスビル等から排出される廃プラスチックなど事業系廃棄物について、3Rを促進するため、区市町村と連携し、3Rアドバイザーによる的確な助言を実施しています。

### 「産廃エキスパート」・「産廃プロフェッショナル」の認定

東京都知事から第三者評価機関の指定を受け、産業廃棄物処理業者を適正かつ公正に審査・評価し、優良な事業者として認定しています。





Natural environment  
**自然環境**



## 東京の自然をもっと豊かに、もっと身近に

貴重な自然環境が残る保全地域の適正な管理及び活用を図ることを目的として、保全地域において緑地保全活動を行うボランティア人材の育成業務、ボランティアに関する情報発信や会員登録等を担う情報センター運営業務、並びに保全地域の維持管理業務を東京都から受託し、実施しています。

東京都の保全地域

指定数：**50**地域

指定面積：約**760**ha

### 自然環境の保全等事業



保全地域体験プログラム 東京の里山で稲作体験

#### 保全地域体験プログラムの実施

都民に緑地保全活動の良さを体感してもらうことで、新たなボランティア人材の掘り起こしと定着を図るため、未経験者でも参加しやすい体験プログラムを提供しています。

#### 森林・緑地保全活動情報センターの運営

森林・緑地保全活動情報センター Web サイト(里山へGO!)を運営し、ボランティア活動希望者のニーズとレベルに応じた活動情報を提供することで、活動地域・ボランティア団体とのマッチングを図っています。



里山へGO! ホームページ



里山へGO!

<https://www.tokyo-satoyama.metro.tokyo.lg.jp/>

#### 東京グリーンシップ・アクション、 東京グリーン・キャンパス・プログラム

保全地域の良好な自然環境を維持するとともに、幅広い層の都民に自然環境への関心を高めてもらうため、企業、NPO 及び大学などの多様な主体と連携した、東京グリーンシップ・アクション及び東京グリーン・キャンパス・プログラムを実施しています。

#### 保全地域の管理等業務

保全地域の適正な管理を目的として、支障木の伐採・剪定作業や、案内板、木道及びフェンスなどの施設補修等を行っています。



矢川緑地保全地域



Tokyo Institute for Environmental Science

# 東京都環境科学研究所

## 東京の環境の改善・向上に向けて

当研究所は東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見の提供を目的として、環境の改善・向上に資する幅広い調査研究を実施しています。

### 環境施策の展開を支える

東京都の環境施策の展開に必要な科学的知見を提供します。

### 産学公との連携

研究等の実施にあたっては、大学や他の研究機関、民間等との連携を進めます。

### 幅広い環境研究

国や民間等からの外部資金を活用し、環境の改善・向上に資する幅広い研究等を行います。

東京都環境科学研究所の  
三つの役割

## 都から受託している調査研究

### 1 自動車環境対策の総合的な取組に関する研究

最新規制適合車や低公害車の排出ガス低減効果の検証、未規制物質の排出状況の把握やハイブリッド車などによる二酸化炭素排出低減実態等の調査研究を行っています。

### 2 資源循環に関する研究

都市ごみ処理プロセスから発生する金属や焼却灰の循環利用、焼却排ガス中の有害物質の処理・管理手法及び食品ロスの実態把握・要因分析などの研究を行っています。

### 3 微小粒子状物質の濃度低減等に関する研究

大気中微小粒子(PM<sub>2.5</sub>)に関する濃度測定や組成分析等を行い、発生源推定や生成機構の解明、さらに粒径の小さいナノ粒子の実態把握等を行っています。

### 4 高濃度光化学オキシダントの低減対策に関する研究

光化学オキシダントの原因物質と考えられる揮発性有機化合物(VOC)等の実態調査や発生源推定に関する研究を行っています。

### 5 有害化学物質の分析法・環境実態の解明に関する研究

環境中で分解されにくく、毒性が強いため、極微量でも人へのリスクが懸念される残留性有機汚染物質等について、汚染実態把握や汚染源の解明等の調査研究を行っています。

### 6 水環境の保全に関する研究

都内水域の環境改善に資するため、沿岸域の水生生物の生育・生息実態把握、環境修復技術の効果検証や衛生指標細菌の分布と発生源推定などの研究を行っています。そのほかに、都内の地下水の実態把握に関する調査研究を行っています。



大型車両シャシダイナモメータ



PM<sub>2.5</sub>測定装置と分析



## 7 ヒートアイランド現象等の実態に関する研究

東京におけるヒートアイランド現象の実態と影響、ならびに緑を中心とした都市の熱環境改善効果について、観測・数値シミュレーションによる研究を行っています。

## 8 水素蓄電を活用したまちづくりに向けた調査

水素は、有望な次世代エネルギーの一つとされています。水素を活用したまちづくりに向けて、再生可能エネルギーから製造するCO<sub>2</sub>フリー水素の都内での利用と水素蓄電を活用したエネルギーマネジメントを構築するための調査を行っています。

## 9 都有施設のスマートエネルギー化の推進に向けた調査研究

都有施設のエネルギー使用データを分析することにより、エネルギー消費傾向の把握や省エネの推進・阻害要因を特定するなど、都有施設のスマートエネルギー化の推進に向けた調査研究を行っています。



有害化学物質の分析

## 都への環境技術支援

### 1 自動車排出ガス試験

自動車排出ガス計測装置等(シャシダイナモメータ等)の施設を維持管理し、「自動車NO<sub>x</sub>・PM法」に基づく自動車排出ガス試験や自動車排出ガス低減装置等の性能試験に活用しています。

### 2 行政検体の精度管理

東京都環境局が民間業者に委託している公共用水域や地下水の水質監視、及び事業所排水の水質規制に関わる分析の一部について、同一試料の分析を実施し、その信頼性を確保しています。

### 3 都及び区市町村の職員への技術支援

エネルギー設備の導入や運用、ダイオキシン類分析、VOC測定や廃棄物の組成分析等、環境に関連する知識・技術を修得・継承するための研修を実施しています。

### 4 国際環境協力に関する技術支援

海外都市等に対し大気改善分野及び気候変動分野等に関する高度・専門的な情報・技術の発信、交流を行うことにより、国際環境協力事業を推進しています。

## 自主研究・外部資金研究について

研究員の自発的な提案に基づき、先行的に研究を進めるため、平成27年度から、公社自主財源を活用した自主研究事業を開始しています。また、平成28年9月に文部科学大臣より科学研究費(科研費)助成事業に係る研究機関に指定され、平成29年から科研費研究が採択されています。環境研究総合推進費研究と併せて、研究レベルの向上を図っています。

## 広報活動及び情報発信

研究所の日頃の活動や施設を紹介するため、年に1回、施設公開「Let'sサイエンス」を行っています。施設公開「Let'sサイエンス」では、研究員による科学実験教室や来場者も参加できるワークショップ、研究所見学ツアーなどを行っています。この他、随時、視察・見学を受け入れています。また、公開研究発表会、年報、学会発表、研究所ニュース等で研究成果を発信しています。



Let'sサイエンス2019「水をつかもう!」

## 東京都気候変動適応センター

東京都と連携して東京都気候変動適応センターを令和4年1月に開設しました。

本センターは、国や地方自治体、研究機関等と連携し、気候変動の影響や適応に関する情報の収集、整理、分析等を実施しています。また、その成果を広く提供することで、都内区市町村や事業者、都民の皆様それぞれの、気候変動適応に関する取組を促進します。



東京都環境科学研究所 HP  
<https://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>



Environmental learning

# 環境学習のすすめ

## もっと知りたい!環境のこと

私たちが住む地球には様々な環境課題が存在します。公社では、スマートエネルギー・資源循環・自然環境・調査研究の4事業から得られた知見とフィールドを利用し、都民のみなさまに環境問題への意識を高める機会を数多くご用意しています。

### ● 都民を対象としたテーマ別環境学習講座

都民を対象に、エネルギー・生物多様性・資源循環など、様々な分野について、楽しく学び、考える機会を提供しています。専門家による講義や施設見学ツアーなど、オンライン実施も含め、多彩なプログラムをご用意しています。



### ● 水素エネルギー出前授業

持続可能な低炭素都市の実現に向けて、社会での実装が期待される「水素エネルギー」を学ぶ小学校向けの出前授業を実施しています。



- 地球温暖化防止活動 (P6 参照)
- 東京スイソミル (P7 参照)
- 里山へGO! (P11 参照)
- 東京都環境科学研究所施設公開「Let'sサイエンス」(P13 参照)

### ● 小学校教員向け環境教育研修会

学校の夏休み期間等を利用して、小学校の先生等を対象に、教科学習に沿った環境学習プログラムを紹介し、体験していただく研修会を実施しています。



### ● 環境関連施設の見学案内

埋立処分場の延命化やごみの減量に向け、中央防波堤埋立処分場及び廃棄物処理施設の都民及び小学生等への見学案内業務を実施しています。



### 環境学習を集約したリーフレット・ホームページの紹介

公社の実施する環境学習・普及啓発事業の施設や活動をまとめてご紹介しています。



環境学習のすすめ 🔍

<https://www.tokyokankyo.jp/study/>



# 東京都環境公社について

## 概要

名称	公益財団法人 東京都環境公社
所在地	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号
設立年月日	昭和37年5月14日
評議員会 評議員	8名
代表者 理事長	高崎 秀之
役員 理事	8名 監事2名
職員数	389名(令和4年4月現在)
基本財産	3億5千6百万円
事業規模	87億2千万円(令和4年度予算)

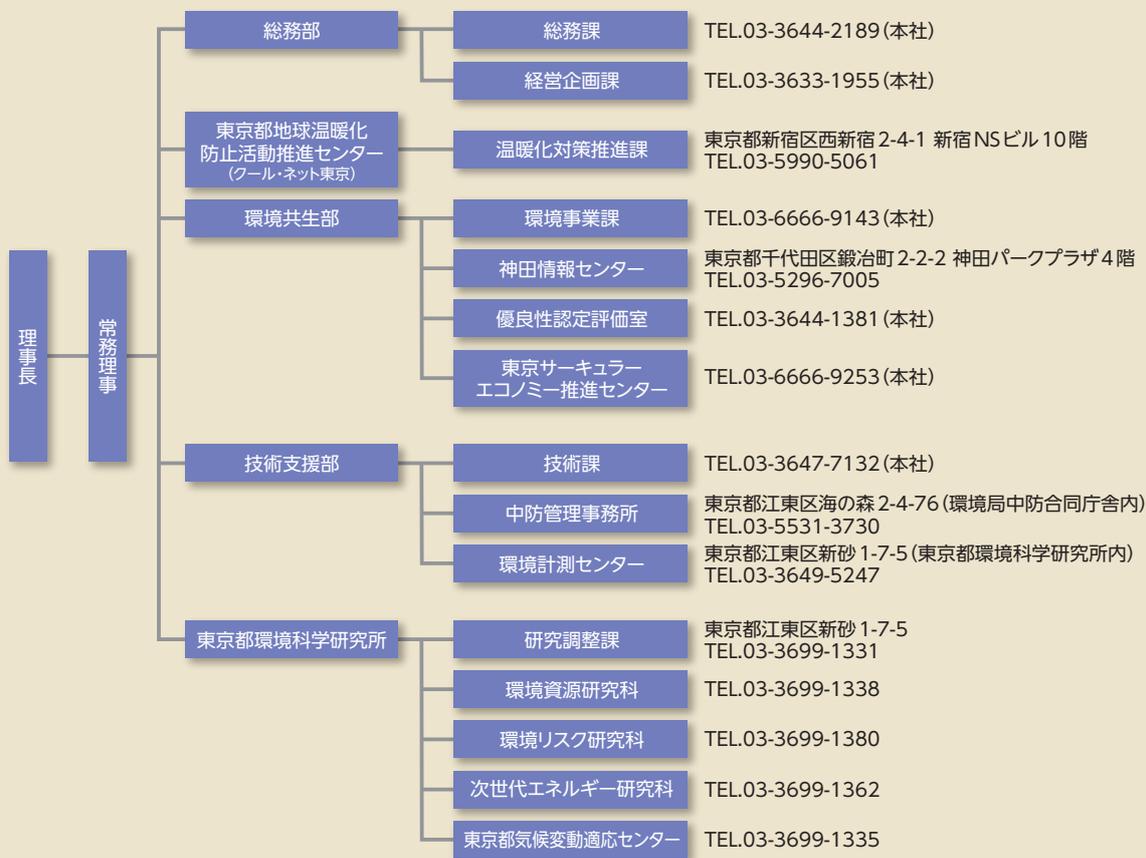
## 業の許可等

- ・ 一般廃棄物収集運搬業 第7号
- ・ 環境計測センター 品質方針(ISO9001)認証取得
- ・ 神田情報センター 情報セキュリティ方針(ISO27001)認証取得
- ・ 東京都地球温暖化防止活動推進センター 東京都知事指定
- ・ 優良性基準適合認定制度第三者評価機関 東京都知事指定
- ・ 浄化槽法指定検査機関 東京都知事指定

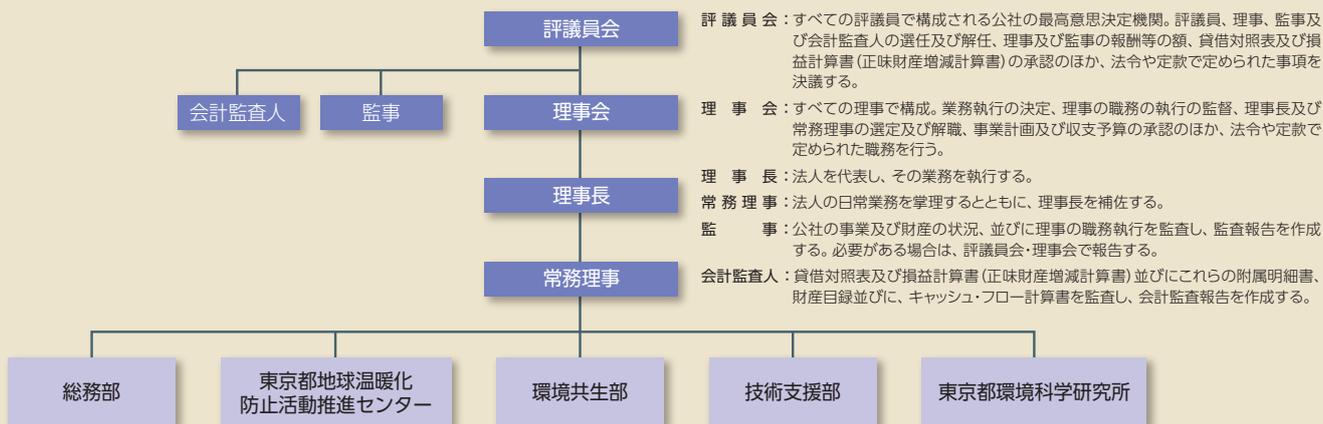
## 沿革

昭和37年 5月	(財)東京都環境整備事業協会設立
昭和48年12月	(財)東京都環境整備公社に社名変更
平成17年 4月	地球温暖化対策推進ネットワーク事業開始
平成19年 4月	東京都環境科学研究所 東京都より移管
平成20年 4月	東京都地球温暖化防止活動推進センター事業開始
平成21年 4月	中央防波堤外側埋立処分場関連事業の包括受託開始
平成21年 8月	東京都知事より優良性基準適合認定制度第三者評価機関の指定を受ける
平成22年 8月	本社を墨田区江東橋四丁目26番5号に移転
平成24年 4月	公益財団法人 東京都環境公社に社名変更(公益財団法人へ移行)
平成27年 4月	多摩分室開設(自然環境の保全等事業及び浄化槽法定検査事業開始)
平成28年 7月	水素情報館「東京スイソミル」開設
平成31年 1月	暑さ対策緊急対応センター開設
令和 4年 1月	東京都気候変動適応センター開設
令和 4年 4月	東京サーキュラーエコノミー推進センター開設

## 組織図



## ガバナンス体制



会社の各事業はホームページ・SNS・メールマガジンで発信しています。

東京都環境公社ホームページ  
<https://www.tokyokankyo.jp>



環境公社公式Twitter  
@kankyokosha1962



東京都地球温暖化対策情報  
メールマガジン



里山へGO! Twitter  
@tokyo\_satoyama



産業廃棄物関連情報  
メールマガジン



## 事業所のご案内

公益財団法人東京都環境公社 (本社)	東京都地球温暖化防止活動推進センター (フル・ネット東京)	東京都環境科学研究所	中防管理事務所 (環境局中防合同庁舎内)
東京都墨田区江東橋4-26-5 東京トライフック錦糸町ビル8階	東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル10階	東京都江東区新砂1-7-5	東京都江東区海の森2-4-76
<b>ACCESS</b> ・JR総武線 錦糸町駅 徒歩1分 ・東京メトロ 半蔵門線 錦糸町駅 徒歩1分 ・都バス 錦糸町駅(南口) 徒歩1分	<b>ACCESS</b> ・JR新宿駅 西口 徒歩7分 ・都営地下鉄新宿線 京王線 新宿駅 徒歩6分 ・都営地下鉄大江戸線 都庁前駅 徒歩3分	<b>ACCESS</b> ・東京メトロ 東西線 東陽町駅3番出口 徒歩10分	<b>ACCESS</b> ・東京臨海高速鉄道 東京テレポート駅 またはゆりかもめ テレコムセンター駅より都バス 中央防波堤行き 環境局中防合同庁舎前下車

公益財団法人 東京都環境公社  
Tokyo Environmental Public Service Corporation

☎03(3644)2189 <https://www.tokyokankyo.jp>



2022年5月発行 K058-02